

# 観測企画運営委員会の 活動報告

村田 勝寛（京都大学）、

齊藤 大晶（北海道大学）、大朝 由美子（埼玉大学）、瀧田 怜（東京大学）、高橋 一郎（東京工業大学）、

楠根 貴成（名古屋大学）、野上 大作（京都大学）、高橋 隼（兵庫県立大学）、中岡 竜也（広島大学）、

永山 貴宏（鹿児島大学）、花山 秀和（国立天文台）、早津夏己（国立天文台）、

泉浦秀行（国立天文台）、太田耕司（京都大学）

# 観測企画運営委員会とは

光赤外線天文学大学間連携規約より一部引用

本事業に参加している組織から1-2名を選出し、**事業を円滑に進める現場レベルの実務**担当を担う観測企画運営委員会を設置する。

本委員会の方針や**決まり事などを審議・提案し**、運営協議会および他のメンバーへの了承を得る形で事業を進める。

<以下略>

# 23FYの観測企画運営委員会の活動

観測提案の募集、検討会・進捗報告会の開催

教育プログラムの開催（本日午後に担当者より報告）

- 短期滞在実習
- 装置開発講習会
- データ解析講習

OISTER談話会

ワークショップの開催、準備

観測企画運営委員会の開催

OISTER web（一部）の英語版作成

OISTER名称・謝辞・規約改定

連携観測自動化などを検討、関連した科研費・国立天文台共同開発経費応募（科研費は不採択でした、2日目午後に報告）

MMAインテンシブプログラム（仮）の検討

NAOJ 国際外部評価・PJ延長申請の指摘事項の対応検討

教育プログラムの拡充（機械学習の講習会新設など）の検討

# 検討事項は来年度には全体にご報告できるようになる見込みです

# 観測企画運営委員会の開催

毎月1回を目安にzoom、今年度は1回だけF2F  
約2時間、議事録は委員会MLで回覧

## 2023年度の日程と会議出席者

- 第1回 2023/4/19 齊藤、大朝、瀧田、高橋一郎、楠根、野上、村田、高橋隼、中岡、永山、花山、早津
- 第2回 2023/5/19 齊藤、大朝、瀧田、高橋一郎、楠根、野上、村田、高橋隼、中岡（後半）、永山、花山
- 第3回 2023/6/16 齊藤、大朝（後半）、瀧田、高橋一郎、楠根、野上、村田、高橋隼、中岡、花山
- 第4回 2023/7/31（新大阪会議室）齊藤、大朝（後半）、瀧田、高橋一郎、楠根、野上、村田、高橋隼、中岡、永山、花山
- 第5回 2023/9/11 齊藤、大朝、瀧田、高橋一郎、楠根、野上、村田、高橋隼、中岡、永山、花山、早津
- 第6回 2023/10/16 齊藤、大朝、瀧田、高橋一郎、楠根、野上、村田、高橋隼、中岡、永山、花山、早津
- 第7回 2023/11/17 齊藤、大朝、瀧田、高橋一郎、楠根、野上、村田、高橋隼、中岡、永山、花山、早津
- 第8回 2023/12/19 齊藤、大朝、瀧田、高橋一郎、楠根、野上、村田、高橋隼、中岡、永山、花山、早津
- 第9回 2024/1/10 齊藤、大朝、瀧田、高橋一郎、楠根、野上、村田、高橋隼、中岡、永山、花山、早津

# OISTER観測提案

- 申し込み資格者：PIはOISTER所属機関、Co-PI は機関外であっても可
- ToO（突発現象）とキャンペーン（time critical）の2種
- せいめい望遠鏡の募集に合わせて、定期募集（年二回）と随時募集
- 提案は1年有効
- ToOに限り、随時募集を受け付け
- 観測受け入れ可否は各機関の裁量

次回の募集は4－5月頃〆切

観測提案〆切後に観測検討会を開催：PIが実現したい観測を相談。各機関の望遠鏡・装置の向き・不向きを確認。逆提案もある。観測イメージを共有し、円滑な観測を促す。PI（参加がどうしても難しい場合はCo-PI, Co-I）が必ず出席

# 観測提案の応募数

23年6月期 7件

このうち学生PI・Co-PIは3件

- ToO 2件
- キャンペーン 4件
- 随時募集ToO 1件

23年11月期 14件

このうち学生PI・Co-PIは3件

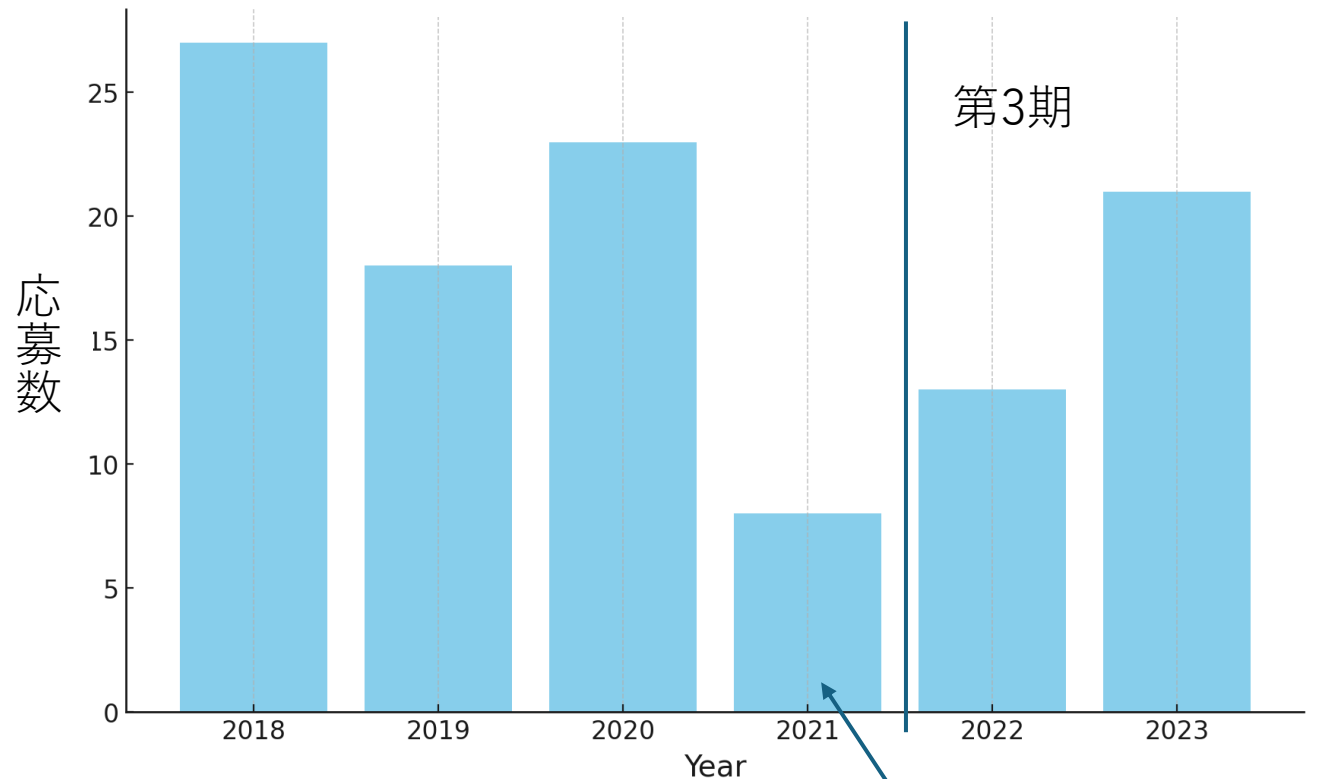
- ToO 7件
- キャンペーン 1件
- 随時募集ToO 6件

# 11月期の方が多いのには、継続して出されている提案の有効期限切れのタイミングが要因

23FYは例年並みの提案数に戻った

- 2021FYはOISTER内の継続提案しかほぼできていなかった。22-23FYにかけてOISTER内でAGN・SNなどの新規提案、OISTER外望遠鏡との同時観測が増えた

観測提案の応募数の推移（年度で集計）



18FY以降をOISTER wikiをもとに作成

2024/03/06時点

発動されていない提案も含む

21FYは6月〆切の1回のみ募集  
1年有効なため第2期末まで有効

# 時間領域天文学（突発・変動現象研究）



赤丸は観測提案が応募されている and/or 観測されている

FRB

# 観測提案に基づき実施された観測件数

23FY中のトリガー数 12件

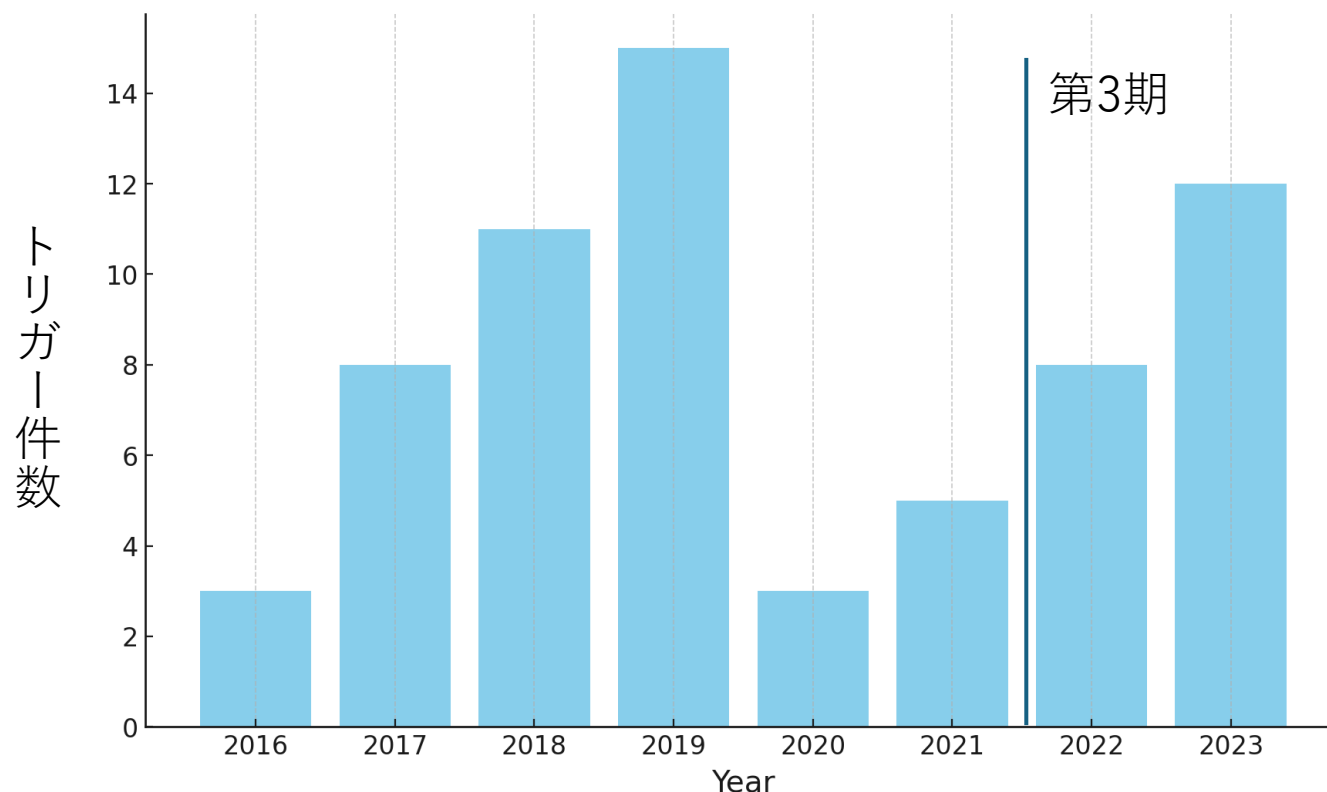
- ToO 8件
- キャンペーン 4件

天体種類

- X線連星 2件
- 変光星 2件
- 超新星 2件
- AGN・ブレイザー 4件
- 太陽系天体 2件

# この他、22FYから継続観測が1件

ToO・キャンペーン観測トリガー数の推移（年度で集計）



16FY-22FYはOISTER観測まとめテーブルの情報をもとに年度単位で作成

2024/03/06時点

トリガー数を集計（トリガー一回で複数天体観測した場合も1としてカウント）



# 進捗報告会の開催

- 観測を発動したPIが観測と解析の状況、研究の進捗、論文化の見込みなどを報告
- 機関側としては望遠鏡・装置ごとのデータ使用状況を把握でき
- 提案者側も得られたデータについて相談できる

zoom開催、OISTERメンバーどなたでも参加可（MLで通知）

2023年度

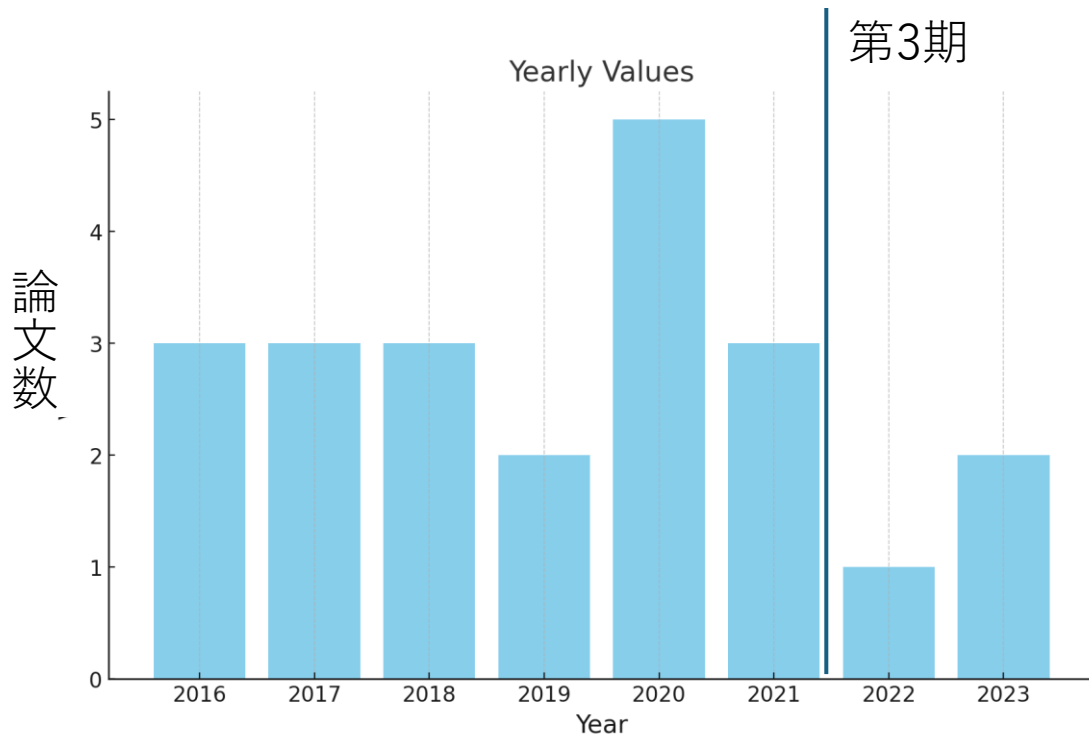
8月 口頭報告6件

10月 口頭報告2件

年度明けに次回を開催予定で調整します

# OISTER ToO・キャンペーン観測にもとづく査読論文数の推移

## ToO・キャンペーン観測の査読論文数の推移 (年度で集計)



OISTER webをもとに「OISTERネットワークによる成果」の査読論文数をもとに作成

2024/03/06時点

査読なし、連携教員論文数は5月頃までに集計予定

ToO・キャンペーン観測にもとづく23FY出版の査読論文

- Horiuchi et al., 2024, PASJ, 75, 3, “Multicolor and multi-spot observations of Starlink's Visorsat”
- Yoshitake et al., 2024, PASJ, “Evolution of accretion disk structure of the black hole X-ray binary MAXI J1820+070 during the rebrightening phase”

23FY 日本天文学会欧文研究報告論文賞の受賞

Namekata et al. 2024, PASJ, 72, 4

“Optical and X-ray observations of stellar flares on an active M dwarf AD Leonis with the Seimei Telescope, SCAT, NICER, and OISTER”

木邑 真理子さん（京大卒業生、金沢大）が2023年度日本天文学会研究奨励賞を受賞「多波長観測と数値計算によるコンパクト星への突発的ガス降着メカニズムの研究」

OISTERの連携観測、また、運用望遠鏡の観測成果を含む以下の論文も受賞対象として評価されました

- Kimura et al., 2021, PASJ 73, 1
- Kimura et al., 2016, Nature 529, 54

# OISTER談話会

OISTER観測に関連したテーマを中心にした談話会。学生教育の一環  
テーマの選定は学生アンケート結果も参考にして委員会で調整

**2023年度は3回、zoom開催、毎回40名前後**が参加

第6回 中小口径望遠鏡による太陽系小天体サイエンス 寺居 剛 氏 (国立天文台)

第7回 セイファート銀河・クエーサーの時間軸天文学 峰崎 岳夫 氏 (東京大学)

第8回 超新星の早期観測から明らかにする大質量星の最期の姿 守屋 堯 氏 (国立天文台)

# 第5回以降は動画・スライドをOISTER内部 wikiで公開中

# 短期滞在実習、装置開発講習会、データ解析講習会も開催

# 本日午後にご報告

来年度の談話会テーマ・講師の方を検討中  
後日アンケートを取りますのでご回答を。特に学生の皆様

これまでのテーマ・講師

- 第1回 OISTER談話会 激変星概論と最近の観測ターゲット(磯貝桂介 (京都大学・東京大学 研究員))
- 第2回 OISTER談話会 X線連星入門(河合誠之 (東京工業大学 教授) )
- 第3回 OISTER談話会 惑星におけるストームと雷放電活動 (高橋幸弘 (北海道大学))
- 第4回 OISTER談話会 重力波天体からの電磁波放射: 理論と観測の現状 (田中 雅臣 氏 (東北大学) )
- 第5回 OISTER談話会 恒星フレアとそれに伴うプラズマ噴出現象の観測的研究 前原 裕之 氏 (国立天文台)
- 第6回 OISTER談話会 中小口径望遠鏡による太陽系小天体サイエンス 寺居 剛 氏 (国立天文台 ハワイ観測所)
- 第7回 OISTER談話会 セイファート銀河・クエーサーの時間軸天文学 峰崎 岳夫 氏 (東京大学)
- 第8回 OISTER談話会 超新星の早期観測から明らかにする大質量星の最期の姿 守屋堯 氏 (国立天文台)

# 次回のOISTERワークショップ

テーマ「大望遠鏡時代の中小望遠鏡ネットワーク」

会場：西はりま天文台 or 姫路・西はりま地場産業センター

日程：12月上旬－3月中旬の2、3日間を検討中

国立天文台研究集会に応募中